

4 - 6 その他

(1) 公園坂通りと手賀沼公園・久寺家線接続部オープンスペース

公園坂通りの南端は、手賀沼公園・久寺家線の事業区域と重なっており、予定では、東側の歩道に沿ってオープンスペースが発生します。面積は小さくても公共空間として貴重なこの場所を有効に活用し、魅力づくりにも役立てたいものです。

図4 - 1 計画条件図



整備の留意点

- ・ 公園坂通り南区間の車両通行形態が相互通行の場合には、接続部の近くでは手賀沼公園・久寺家線と公園坂通り相互の見通しがよいほうが安全です。
- ・ 手賀沼、八ヶの道への分岐点であることから、手賀沼文化拠点整備計画におけるサイン整備の候補地といえます。
- ・ 例えば防火水槽の設置など、地域のまちづくりに必要な公共施設と連携した整備を検討することも必要です。

○整備の方向

歩行者優先の公園坂通りと、地区幹線道路である手賀沼公園・久寺家線という性格の異なる道路の接点に位置することから、例えば公園坂通りに面して落ち着いた雰囲気的空間としたい場合には、手賀沼公園・久寺家線に接する部分を植栽で遮ることを検討するなどの工夫が求められます。

整備にあたっては、公園坂通りの車両通行形態、地域のまちづくりや手賀沼文化拠点整備計画のイメージづくりについて考慮した上で、この場所の役割、イメージを決定し、それにふさわしい空間設計を行うことが望ましいといえます。

(2) 公園坂通りから望む景観について

公園坂通りは、我孫子駅と手賀沼を結ぶ、南下がりの坂道であるということも大きな特徴の一つです。手賀沼が見えるということも、特色ある景観要素となります。

現状の公園坂通りは、北 区間から下では、正面に手賀沼公園の豊かな緑、さらに下ると手賀沼の水面を木々の合間に見ることができます。



公園坂通りの歩道から、手賀沼公園の樹木と水面が見えます。

しかし、公園坂通りを、我孫子駅と手賀沼を結ぶ坂道としてより印象深いものにするため、その樹木を移植して、手賀沼の水面が広がる景観づくりも必要ではないか、という意見もあります。

手賀沼を望む坂道としては他に県道船橋我孫子線や市道 12-001 号(白山 1 丁目)があります。

公園坂通りの西側にある市道 12-001 号(白山 1 丁目)は、坂道の幅員は 4 m ほどですが、急勾配でかつ沿道の土地利用が絶対高さ 10m に規制されていることから、手賀沼を望むことができます。

公園坂通りは幅員が狭く、手賀沼公園に近くなると平坦で直線的になります。今後、現状の手賀沼公園の緑を活かした景観と手賀沼という水面を活かした景観づくりについて、検討していく必要があります。



市道 12-001 号から望む手賀沼



手賀沼公園

(3) イベントの開催について

公園坂通りは、7月の八坂神社祭礼と8月の手賀沼花火大会にあわせて、車両通行止めの交通規制が行われます。

また、交通規制は行われませんが、アビスタや手賀沼公園でイベントが開催される休日は、公園坂通りは歩行者であふれます。



八坂神社祭礼



手づくり散歩市(けやきプラザ)

沿道住民の生活に支障がない程度に、公園坂通りが歩行者にとって居心地の良い日を増やす、つまり車両の通行を制限する日を増やすことも考えられます。例えば、坂道を後ろ向きで登る競争を市民の健康づくりのイベントとして行うことも考えられます。